



手術部位感染 (SSI) 発生率

手術部位感染 (SSI) とは、術後の創部に起こる感染症を指します。

適切な予防策の実施により、SSIの発生は抑制することができるといわれています。

SSIの発生は、重症化のリスクが高まり入院期間の延長を伴うことも多く、患者さんの負担が増えることに繋がります。

【JANIS(院内感染対策サーベイランス)】

発生率(全国平均)

部位\該当年	2020年	2021年	2022年
大腸(COLO)	8.8%	8.5%	8.1%
直腸(REC)	11.1%	10.4%	10.3%
人工膝関節(KPRO)	0.5%	0.6%	0.6%

※出展:厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業ホームページ
(<https://janis.mhlw.go.jp/>)